

# あじさいネット OFF LINE 通信

2021.1  
Vol. 37

Regional Health Information Network



© Nagasaki Prefecture Convention and Tourism Association

大島大橋（西海市）

就任挨拶	「地域医療連携の重要性と新たな連携」 あじさいネット会長 森崎 正幸 先生	p.2
退任回想	「あじさいネット創世期から成長期とともに歩み」 あじさいネット前会長 小尾 重厚 先生	p.3
会員様の声	情報閲覧施設 藤井外科医院 藤井 卓 先生	p.4
会員様の声	情報閲覧施設 井石内科医院 米田 圭子 先生	p.5
お役立ち	情報提供病院 連絡先一覧	p.6-7
会員様の声	長崎大学 中島 正洋 先生	p.8
県庁紹介	長崎県 福祉保健部 医療人材対策室のご紹介	p.9
ご案内	●あじさいネット機能一覧／入会案内 ●あじさいネットからのお知らせ／あじさいな人々／編集後記	p.10-11 p.12

### 現在の運用状況

- 患者登録数： 130,741 名
- 会員数： 1,613 名
- 情報閲覧施設数： 362 施設
- 情報提供病院数： 37 施設

(令和3年1月5日現在)

### 賛助会員

- ◆ 日本電気株式会社 医療ソリューション事業部
- ◆ 株式会社LSIメディアエンス
- ◆ 富士通株式会社 長崎支店
- ◆ 株式会社NTTデータ中国
- ◆ オフィスメーション株式会社
- ◆ 株式会社ディーソールNSP
- ◆ PHC株式会社



特定非営利活動法人  
長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会（あじさいネット）

事務局：〒852-8532 長崎県長崎市茂里町3番27号（長崎県医師会内）  
TEL. 095-844-1111 FAX. 095-844-1110 Eメール：aj-na@nagasaki.med.or.jp



# 会長就任挨拶

## 地域医療連携の重要性と新たな連携

特定非営利活動法人  
長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会

会長 森崎 正幸 先生



### 会長就任挨拶

長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会(通称あじさいネット)は、2004年11月にシステムの運用を開始され現在17年目を迎えております。このたび、小尾重厚会長の勇退を受けて、2021年1月

より私が会長に就任することとなりました。もとより微力ではございますが、あじさいネットの充実、発展のために最善を尽くす所存でありますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

### あじさいネットは

#### 長崎県の医療の宝物

あじさいネットは長崎県の医療の宝物だと思っております。長崎県は独特な特徴を持った地域です。医師の偏在もそうだし、離島と僻地が多いということでもハンディキャップがあります。このハンディキャップをどのように克服していくのかは、情報共有ツールとしてのあじさいネットが鍵だと思っております。あじさいネットは、診療情報共有機能の有用性はもちろんです。TV会議の機能もありません。カンファレンスや遠隔地でなかなか講演会や研修会などに出席できない先生方も遠くから参加できるようになりました。ビデオ配信も利用できますので医師をはじめ多職種の研鑽という面におい

ても貢献できると考えています。また、あじさいネットではオンライン診療システムを利用できるよう準備を進めています。安全性、有効性、信頼性が担保された上であれば、離島、僻地医療、在宅医療に關してはあじさいネットを用いたオンライン診療は今後有用に活用される可能性があると考えております。オンライン診療、離島・僻地医療支援のための画像伝送システム、あるいは救急診療の支援システムなどが今後更に活用され、ハンディキャップの克服に繋がればと思います。

IT技術や情報システムとなると機械をメインに思いがちですが、中心にいるのは患者さんです。患者さんを診るかかりつけ医と病院、様々な医療機関を行き来しています。その施設間の情報共有のツールとしてあじさいネットは大事な部分を担っています。今後は、地域医療構想や地域包括ケアシステムが益々普及していきますので、その中で、患者さんを中心にどのようにしてかかりつけ医が診ていくのか、そして病院にかかった患者さんをごどのようにして在宅医療に移行していくのか、重要な役割を果たすと考えています。在宅医療の主治医はかかりつけ医ですので、患者さんとかかりつけ医の関係にあじさいネットを有効活用していきたいと思っております。また、今後は外来機能報告制度が予定されていますので、かかりつけ医にはあじさいネットを利用していただき、自院では出来ない高度な医療機器を使用した検査などを情報提供病院で患者さんに受けてもらい、その診療情報を閲覧する事で、患者さんの状態把握と診療の継続に役立てていただきたいと思います。

### 周産期医療支援システムの有用性

長崎県は乳幼児・新生児死亡率が常態的に高いことが十数年前から言われており、全国でも8県のうちに指定されてきました。その原因としてあがった問題は、大きい病院に妊婦さんの情報が十分に伝わっていない点や開業医で診すぎたケースなどがあげられ、これらの問題を解決するために2014年に周産期医療支援システム「すくすく」が構築されました。

長崎県の周産期医療の特徴は、正常お産を開業医で行い、異常お産を周産期母子医療支援センターで行います。異常の場合は、妊娠中に紹介をして搬送します。その際は、必ず情報共有を行います。緊急の場合は、電話をかけるのが一杯で詳しい紹介状を書く時間はあります。そんな時に情報を共有するツールとして有効です。「すくすく」を導入し、5年が経過しますが、新生児の死亡、妊産婦死亡が減少しつつあります。現在、長崎県には41分娩施設があり、「すくすく」に加入している医療機関は21施設です。この加入率を80%、90%まで増やしていきたいと思っております。そうすることで、周産期母子医療支援センターの先生方は、より詳細な情報共有ができ、妊婦さんが来る前に情報を閲覧することが出来ますので、迅速に対処が行えるようになります。母子周産期医療支援センターの先生方にも協力をお願いし、また長崎県に分娩施設にも啓発をしていこうと思っております。

そして今後は、すくすくから連続したシステムとして、小児発達医療支援システムへの流れを作っていこうと考えています。産婦人科から小児科へ連携を行う事

によって、小児の発達やワクチン接種スケジュールなど様々なことが分かるようになります。安心で安全な小児医療に繋がっていき、と思っております。将来的には、妊娠中はどうだったのか、生まれた時はどうだったのかを振り返って診ることで、虐待や発達の問題などに役立つっていくものも期待しております。

### 介護との連携、そして継続

私が最終的に目指しているのは、医療と介護の連携です。これはどの県でも成功しております。在宅医療で診ていて救急搬送になった際にACPのデータがあれば、蘇生を希望しているのかどうか、処置を望んでいるのかどうか、あるいは搬送すらも希望していないのか、ということも含めて、本人の希望がすぐに分かれます。情報が伝わっていないければ、救急の担当者も患者さんが望む判断ができませんし、在宅医療では警察が入ることもあります。そういう時に、医療と介護が連携し、お互いに情報共有をしておく必要があります。最終的には患者さんのためになるツールとしてどのような機能を持ち、活用していくかが大切です。介護と医療は一緒の様で全く違う分野ですので、あじさいネットの啓発や運用も含めて、進めていきたいと思います。

また、他の地域医療連携ネットワークシステムの話を聞くと頓挫したり、消滅の危機にあるという話も聞きます。あじさいネットは、全国的にも数少ない成功例として注目度が高く、県下全域を網羅するネットワークシステムは全国でも数少ない事例です。これほどまでに広がったあじさいネットを衰退させないように今後は継続にも力を入れていき、加入施設数や登録患者数をさらに増やして行ければと思います。そのためには、今後は県行政とも連携し、県と県医師会それから会員という流れを形成していきたいと考えています。

【もりさき まさゆき】

昭和五十一年 長崎大学医学部を卒業。長崎大学産婦人科、健保諫早病院(現諫早総合病院)、北九州立八幡病院など県内外の病院勤務を経て、昭和五十八年 島原マタニティクリニック(現島原マタニティ病院)を開業(共同経営)。島原マタニティ病院を退職後、昭和六十三年「宝マタニティクリニック」開院。長崎県医師会会長。





## 会長退任回想

# あじさいネット創世期から 成長期とともに歩み

特定非営利活動法人

長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会 前会長 小尾 重厚 先生



### 【おび じゅうこう】

昭和五十二年 弘前大学医学部を卒業。  
長崎大学病院、国立長崎中央病院  
(現長崎医療センター)勤務を経て、  
昭和六十三年「おび産婦人科医院」開院。  
大村市医師会 第12代目会長。

## 会長就任時の思い出

初代あじさいネット会長である長崎省吾先生の後任として2008年に第2代会長へ就任いたしました。それ以来2020年までの約12年間、あじさいネット会長の務めさせていただきました。

あじさいネットとのかかわりは、大村市医師会副会長の時代からになります。当時の大村市医師会には病診連携が活発に行われており、「容易に議論ができる雰囲気」が醸成されていました。2002年当時、千葉県で運用されていた「わかしおネット」、京都のネットワーク等、他、他県で地域医療連携ネットワークを構築し運用されている担当の先生方を県央の医師会で招聘し講演会等を開催しました。早期に地域医療連携ネットワークシステム構築運用の体制確立へ向けて、大村市医師会、国立長崎医療センター及び大村市民病院の各担当の先生方と日々研鑽に努め議論検討を重ねてゆきました。2003年IT委員会が発足、2004年7月に長崎県地域医療連携ネットワークシ

ステム(あじさいネット)正式発足、同年11月にあじさいネットの正式運用を開始することができました。

## あじさいネット一躍全国に認知

あじさいネットの創成期から関わり、その当時は旭川市、函館市、酒田市、福山市、別府市、栃木県等の各方面の研究等へ参加しました。その機会に、地域医療連携ネットワークの構築を担当する中心的な先生方と親交を深め、いい影響を受けました。当時のあじさいネットは、勢いがありました。地域医療連携ネットワークシステム運用の成功例は非常に少ない状況でした。当時他の地域医療連携ネットワークシステムは「行政等から補助金交付を受け、ハードシステムは構築されてもソフトが全くない状態」で運用がうまくいかないというのが現状でした。これではいけないと自分達で会費を集めて、資金を借入れ、既に使用しているPCをそのままあじさいネットで使用できるようにし、行政等からの補助金交付を受けることなくシステムを構築し実際に稼働、運用することができました。このあじさいネットの仕組みを研究会等に発表すると、何処に行っても脚光を浴び一躍認知され、「全国的に一番堅実で安定した地域医療連携ネットワークシステム」へと発展・成長をしました。これには「医師会が中心」と「推進を図ったことが最大の要因と考えます」。

## 運用は順調でも心痛な時期

あじさいネット構築から会員の拡大、機能拡充及び充実へと邁進していく過

程で、「一番苦しい時期がありました。その当時はODI・VPNは事業者から買取り形式でしたが、それをリース形式に変更するために、やむ得なく年会費二千円を四千円へ値上する決定をした時でした。今後、あじさいネットは大丈夫かな、やっつけいけるのかなと心痛の思いでした。それでもあじさいネット会員の皆様が患者さんのためにと粉骨砕身になったご協力ご支援があり、会員数も減少することなく順調に増加して行き安心しました。これはあじさいネットが確実に各地域へ認識され浸透していった結果だと思えます。

## 一層の飛躍を期待

現在、インターネット回線は、一部の地域を除いて県下全域に光回線を利用した光ファイバーのインフラ整備が着々と進んでおり、あじさいネットと接続可能となりました。

あじさいネットの目的は、「確固たるセキュリティを順守した、しっかりとしたネットワーク」であり、これをしっかりと維持していくことが重要です。これからはオンライン診療が進展しAI・5G等の高速多量情報通信時代に向かい一層飛躍すると期待しています。将来的には行政と一体となりシステムを運用することも必要かと思慮しています。



小尾先生12年間  
ありがとうございました

《賛助会員様広告欄》

NEC

ともに奏で、ともに創る。私たちの未来。

私たちは世界中の人びとと協奏しながら、  
先進のICTで、明るく希望に満ちた社会を実現していきます。

Orchestrating a brighter world

# あじさいネットが 日々、進化している事を実感

藤井外科医院 院長 藤井 卓 先生

## あじさいネットとの出会い

長い付き合いになります。「あじさいネット」の進化を身近に体験しました。長崎市に於ける地域医療ネットワーク構築を模索していた平成16年頃、市内の病院に電子カルテが導入され、ITを用いた地域医療連携が検討されていました。

当時、長崎市医師会では、長崎地域での統一したITネットワークを構築する事が必須と考え、私も参画していた委員会を中心に「明けない夜は無い」を合言葉に、約4年の年月をかけて、市内の主だった病院間の意思統一を図り、具体的な病診連携のネットワーク構築を検討しました。汎用性があり、新たな施設でも参加しやすい「あじさいネット」を取り入れる事が最善との結論に達し、長崎市医師

会としてあじさいネットに加入する事になりました。

毎月の長崎市医師会情報処理委員会、年数回のあじさいネット準備委員会に参加し、あじさいネット研究会では、全国各地の状況も教えて頂き、あじさいネットが全国的にも注目されているシステムである事を認識し、「あじさいネット」の進化を身近に体験しました。

令和3年からは、NPO法人あじさいネットの理事として、更に深く関わらせていただく事になりました。あじさいネット利用者の立場から、あじさいネットの発展に寄与していきたいと考えています。

## あじさいネット、 診察室では

もともと、ITの知識が深くもなく、ヘビューザーでもありませんが、現在「あじさいネット」は外来診療の現場で欠かせないツールです。病院の診療情報が即時に共有できるため、患者さんの紹介後や入院後の経過を共有する事で、外来診療時の医師・患者さん、両方の安心感・信頼感が以前より増したと感じています。病院での受診内容をフォローする事で、診断・治療に関する自分の勉強にもなっています。

iPad-miniを利用する事で、あじさいネットでの情報閲覧、TV会議システムの活用を診察室以外の自宅や在宅の現場でも使用する事で、利用の幅も広

がりました。外来診療時に患者さんから「あじさいネットで見とつてよ。」と言われる事も稀ではありません。

## 何かをしたくなった時

あじさいネットが日々、進化している事を実感しています。10年以上前から、夢物語の様に、こんな事が出来るかな、出来たら面白いなど、夜遅くまで飲みながら語り合っていました。が、現在殆どの事が実現している、又は実現しそうになっています。システムの進化に伴い、会員個々の利用法も求める方向性も多岐に変化してきています。「あじさいネット」に求める機能は会員それぞれで異なると思いますが、ICTを活用した新たな取り組みを考えたい時、「あじさいネット」を利用したら実現出来るかもしれないと思える様になれば、面白い展開が期待できると考えます。

何より、事業を維持継続していく事が、最も大事な事だと考えています。

## Webも楽し、とは言え

新型コロナウイルス感染症により、生活・人との関わりが大きく変わってしまいました。Web会議、Web飲み会も特別な事では無くなりました。新しい生活様式、ICTの活用も大事な事ですが、顔を合わせて時間を忘れ、想いを語り合う大切な時間を早く取り戻したいものです。

平成21年  
あじさいネット  
入会

藤井外科医院 TEL. 095-836-3233 FAX. 095-836-1099 E-mail: cln-fuji@ngs2.cncm.ne.jp

《賛助会員様広告欄》

ヘルスケアの未来を変えていく。



## 株式会社LSIメディエンス

臨床検査 / 健康診断サポート / 診断薬・機器 /  
創薬支援 / 環境リスク評価 / 食の安全サポート / ドーピング検査

〒101-8517 東京都千代田区内神田一丁目13番4号



# あじさいネットは 全国に先駆け他に類をみない 有用なネットワーク

よねだ けいこ  
井石内科医院 米田 圭子 先生



平成21年  
あじさいネット  
入会

## 熱弁に惹かれ入会

私があじさいネットに入会したきっかけは、医局の同期で親しくさせていただいている松本武浩先生からお話を聞いたことでした。当時はまだ長崎市でクリニック向けに運用開始されたばかりで、「うちのような小さなクリニックで使えることがあるのかな？」と思っておりましたが、大村時代から開発に携わってきた松本先生の熱い語りを聞き、次第に興味を惹かれ入会しました。

## iPadの導入により 迅速な対応が可能に

それでも入会当初はあまり利用できていませんでした。PCを診療室に二台置くことができなかつたため、一般のネット利用をする環境と共存させる必要がありました。そのためあじさいネットを利用する時は手でV

PN接続のスイッチをきりかえる必要があり、やや面倒でした。それが一変したのがiPadの導入でした。自由に持ち出せ、接続も簡単になったことで患者さんをお待たせすることなく一緒に閲覧できる機会が増えたように思います。

## あじさいネットは 画像診断閲覧など たいへん有用なツール

私があじさいネットで主に利用するのはやはり画像の閲覧です。当院から病院へ画像診断を依頼した場合、患者さんは病院では撮影するのみで画像の説明を受けてこれられないことが多々あります。後日患者さんから説明を求められることも多いのですが、そんな時にあじさいネットと一緒に画像を見ながら説明できるのでたいへん助かっています。かかりつけ医と病院とのしつかりした連携が感じられ患者さんたちも安心されるようです。

地域医療の中で、私たちかかりつけ医と病院がしっかりと連携をとることは、効率がよく、しかも質が高い医療を行なうためにとても重要だと感じます。あじさいネットはそのためのたいへん有用なツールです。他の会員の皆さんに比べるとまだまだ使いこなせていませんが、少しずつ勉強していきたいです。

## あじさいネットに 期待すること

一つだけ不便に思うのは、患者さんの同意をとるタイミングです。特に緊急に受診さ

れ他院に紹介した時など、同意書をとれずその後の経過がわからずに残念な思いをしたことが何度もありました。最近は当院のスタッフも慣れてくられてそのような事は少なくなりりましたが、制度上難しいのでしょうか、後日患者さんが来院されなくても同意書が取れる方法がないかなあと考えてしまいます。

## コロナ禍でも地元で 楽しみを見つけるように

あとはあじさいネット上でクリニック同士での連携ができるようになったら最高ですね。未だに紙カルテの私は何言ってるんだという話ですが(笑)

自他共に認める趣味は旅行と食べ歩きですが、コロナ禍のため最近すっかり遠出できなくなりました。もつぱら長崎の中で楽しみを見つけてようになりました。今回の写真は、長崎が生んだ世界の造園デザイナー・石原和幸さんプロデュースの三原庭園で友人に撮ってもらいました。気軽に非日常が味わえてオススメです。偶然、会員のT川先生ご夫妻にもお会いしましたよ！

## 今後の発展に期待を込めて

全国に先駆け、これほど類をみない有用なネットワークを構築し、長崎から発信し続けていることは私たちの誇りです。これからのIT時代、コロナ時代を迎え、ますます有用性が増してくるものと期待しております。ありがとうございます。

井石内科医院 TEL. 095-856-8353 FAX. 095-840-6200

《賛助会員様広告欄》



あじさいネット接続用  
新オンデマンドアダプタ AD300 誕生！

月額プラス1,000円で

さらに安心・安全に、より便利に

オンライン資格確認接続サービス  
提供に向けて準備中

<問合せ先>  
株式会社NTTデータ中国  
ヘルスケア&クラウドサービス部  
Tel. 082-252-3303





# あじさいネット説明同意書の送付先一覧

AJISAI NET

見やすいところに貼ってご利用いただくと便利です

(2021年1月現在: 情報提供病院 37 施設)

	医療機関名・受付時間 (日曜・祝日は全施設受付なし)	FAX 番号	電話番号
県央・佐賀・島原	国立病院機構 長崎医療センター 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-731-063	0120-731-062
	市立大村市民病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-378-375	0957-52-1800
	国立病院機構 長崎川棚医療センター 地域医療支援センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-82-2970	0956-82-3121
	諫早総合病院 医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-1388-35	0957-22-1380
	貞松病院 地域医療連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-54-1165	0957-54-1161
	愛野記念病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0957-36-7072	0957-36-3950
	諫早記念病院 医療連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-22-2903	0957-22-0370
	日赤長崎原爆諫早病院 医療連携室 (平日 8:30-16:30 土 受付なし)	0957-43-2870	0957-43-2111
	南野病院 地域医療連携室 (平日 9:30-16:30 土 受付なし)	0957-54-8752	0957-47-5200
	宮崎病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0957-25-7053	0957-25-4800
	国立病院機構 嬉野医療センター 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-473-489	0954-43-1213
長崎県島原病院 地域医療支援センター (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-63-6544	0957-63-1145	
五島・杵岐・対馬	長崎県上五島病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0959-52-8150	0959-52-3000
	長崎県五島中央病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0959-75-0657	0959-72-3181
	長崎県杵岐病院 地域包括健康増進センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0920-47-1136	0920-47-1135
	光武内科循環器科病院 地域連携課 (平日 9:00-16:30 土 受付なし)	0920-48-1655	0920-47-0023
	長崎県対馬病院 地域連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-765-191	0920-54-7172
県北	佐世保共済病院 医療連携室 (平日 8:30-17:30 土 受付なし)	0120-12-2067	0956-22-5136
	長崎労災病院 地域医療連携室 (平日 8:15-17:00 土 受付なし)	0120-666-437	0956-49-2191

《賛助会員様広告欄》

「つなぐ医療」から、  
「支える医療」へ。



富士通は、医療の未来をカタチにしていきます。

地域医療ネットワークの整備が進むなか、富士通は、地域と住民を「支える医療」にいち早く着手。災害時の事業継続、ビッグデータによる個別化医療、創業の加速化をサポートします。

HumanBridge EHRソリューション

製品・サービスについてのお問い合わせは  
富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200 (受付時間 9:00~17:30 土・日・祝日・年末年始を除く)  
<http://jp.fujitsu.com/solutions/medical/products/humanbridge/>

FUJITSU

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために



# あじさいネット説明同意書の送付先一覧

見やすいところに貼ってご利用いただくと便利です

(2021年1月現在: 情報提供病院 37施設)

	医療機関名・受付時間 (日曜・祝日は全施設受付なし)	FAX 番号	電話番号
長 崎 市	光晴会病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:00)	0120-573-632	095-857-3563
	十善会病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-818-5388	095-821-1214
	長崎大学病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-819-7305	095-819-7930
	長崎みなとメディカルセンター 患者総合支援センター (平日 8:45-17:00 土 受付なし)	095-821-1116	095-822-3251
	日赤長崎原爆病院 病診連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-845-262	0120-845-261
	済生会長崎病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-827-7025	095-827-7021
	聖フランシスコ病院 地域連携科 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-845-7600	095-846-2553
	井上病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-849-6622	095-844-1281
	長崎記念病院 地域連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-871-1510	095-871-1515
	長崎北病院 診療録管理室 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-886-8707	095-886-8700
	虹が丘病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:30)	095-856-1102	095-856-1112
	上戸町病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-832-5616	095-832-5615
	国立病院機構 長崎病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	095-808-0176	095-824-2788
	重工記念長崎病院 地域連携・入退院支援センター (平日 8:30-17:00 土 8:30-11:30) ※ 第2・第4土曜のみ受付	095-801-5520	095-801-5517
	長崎北徳洲会病院 医局 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-857-0928	095-857-3080
	長崎百合野病院 地域連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:00)	0120-857-057	095-857-3366
県 北	佐世保市総合医療センター 地域連携センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0956-24-0474	0956-24-1515
	佐世保中央病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:30 土 8:30-12:00)	0800-7000-070	0120-33-8293

あじさいネット説明同意書は、必ずこの表に記載のFAX番号あてに送信してください。  
同じ病院内でも違う番号(代表番号等)あてにFAXすると、処理に時間がかかる場合があります。



《賛助会員様広告欄》

**医療機関**  
無床診療所から大規模病院までの  
医事会計システム・電子カルテ  
など

**福祉施設**  
小規模事業所～大規模施設  
地域包括支援センター  
など

**調剤薬局**

私たちは  
**地域医療**  
ネットワーク  
に貢献します

**FUJITSU**  
オフィスメーション株式会社は  
富士通パートナーです。

**HOPE**  
日医標準  
レセプトソフト  
ORCA

  
**オフィスメーション株式会社**  
長崎市金屋町2-6 電腦BLD.  
<http://www.nagasaki-om.co.jp>  
お問い合わせ **095-895-8188**  
(ヘルスケア直通)

『あじさいネット』に協賛しています。

## 長崎県

## 「保険医療機関間連携病理診断」体制の構築

長崎大学原爆後障害医療研究所 腫瘍・診断病理研究分野 教授 なかしま 中島 まさひろ 正洋 先生令和2年  
あじさいネット  
入会テレパソロジーと  
あじさいネット

長崎大学病院病理診断に関する長崎県「保険医療機関間の連携による病理診断」体制の構築を目的に入会しました。大学病院病理診断科の人事異動に伴う人員補充までの期間、県内の病理専門医に大病院の診療にご協力いただけることになり、そのためのテレパソロジー（遠隔病理診断）にあじさいネットを活用させていただくものです。「病理診断科」を標榜し、病理専門医が常勤する県内の保険医療機関は、長崎病理解断科、日赤長崎原爆病院、長崎みなとメディカルセンター、済生会長崎病院、長崎県島原病院、佐世保市総合医療センター、佐世保共済病院、長崎医療センターで、長崎大学病院とこれらの機関による連携で、常勤病理医の先生方にこの場をお借りして感謝申し上げます。

迅速な病理診断の結果を  
伝達

平成24年診療報酬改定により「保険医療機関間連携による病理診断（第13部病理診断通則）」が創設されました。平成28年改定で受託側機関の要件に「病理診断科診療所」が追加され、平成30年改定では連携病理診断でのデジタルパソロジー（病理画像診断）が保険収載されました。即ち、保険収載された診療報酬に基づき医療行為（検査ではない）として、今回、保険医療機関間で連携病理診断を契約・構

築するもので、全県での病理連携は我が国初の事とされます。テレパソロジーには組織学的ガラス標本情報とともに、診断依頼内容、検体の肉眼写真、切り出し方法（切除検体の何処を、どの方向に切つて標本を作製したか）等の診療情報を、いかに受託側に正確に提供し、いかに委託側に迅速に病理診断結果を伝達するかがポイントとなります。

## デジタルテレパソロジー（DTP）にはあじさいネットが必要不可欠

高速デジタル通信回線、画像圧縮技術等の情報通信技術（ICT）の進歩を受け、病理診断においてはデジタル画像技術の応用研究により、Whole Slide Imaging（WSI）、いわゆるバーチャルスライド（VSI）が発展してきました。その用途は、研究や教育利用の他、術中迅速の遠隔診断支援やコンサルテーション、医療機関間連携に拡大しています。デジタルパソロジーは(1)画像取込装置、(2)画像保存システム、(3)通信回線、(4)画像ビューアーソフトウェア、(5)画像表示装置の5要素から構成され、(1)については(2)、(4)とともに国内外から市販されている、大病院病理診断科で導入済です。(3)では留意事項として、暗号化通信を採用するなど情報セキュリティの確保と医療情報システムガイドラインへの配慮が求められ、そのためにあじさいネットは必要不可欠で、最大限活用する

事で連携病理診断が可能になります。特にガラス標本の運搬が不要となるVSIを用いたDTPは、臨床へ診断結果を最短時間で伝達するのに有効です。大病院医療情報部のご協力により連携機関でのDTPに必要なインフラを整備中です。技術的にはVSIの閲覧スプリード、委託側臨床医への連絡法、追加検索に必要な特殊染色等の伝達法、受託側での診療報酬算定と請求法が問題となることありますが、解決は時間の問題と思われれます。

## あじさいネットに期待度大

あじさいネットにより長崎県連携病理診断が開始されました。現在、大病院から他機関という一方の連携ですが、双方向から多方向の連携への展開を期待したいと思えます。今後、常勤病理医不在の離島医療圏機関にWSIシステムが導入されれば、DTPによる連携が可能となります。さらに、独り病理医のバックアップや、病理カンファレンス・修練医教育、専門医コンサルト等、多方面への活用が期待できます。病理専門医の現状は不足しています。患者さんへの正確な病理診断の提供のため、この現状を抜本的に改善する必要があります。病理診断へのAI技術の導入を含め、ICTの活用は必須で、本県ではあじさいネットを介したDTPへの期待度は間違いなく大きいと考えます。

長崎大学原爆後障害医療研究所 腫瘍・診断病理学研究分野 TEL. 095-819-7105 E-mail: moemoe@nagasaki-u.ac.jp

《賛助会員様広告欄》

私達はグループ一丸となって、長崎力を最大限活用し、企業理念の実現を目指します。

臨床検査向けシステムの開発において、最適で最高のシステムをお客様にご提供いたします



D-solution

ディーソルグループ

株式会社ディーソルNSP

代表取締役社長 今村 勇雄

〒850-0057 長崎県長崎市大黒町 11-8 長崎東京生命館7階 Tel: 095-821-4361 Fax: 095-821-4362



# 長崎県福祉保健部 医療人材対策室のご紹介

医師確保推進班 園田亜紀様にあじさいネットへ今後期待する事などについてお聞きしました。



医療人材対策室の体制と業務を教えてください。

離島・へき地の医師確保と県内の看護師確保に取り組む「医師確保推進班」と「看護師確保推進班」の2班集体です。長崎県は、医師の数では全国9位の医師多数県とされていますが、本土の都市部に集中しており、離島・へき地においては充足しているとはいえ、県内の地域偏在解消が必要です。看護師についても、人口十万人あたりの数は全国6位と多い状況ですが、2025年時点の需要数には満たないと推計されています。医師の地域偏在解消や看護師の確保及び県内定着を図るために、関係者と連携しながら修学資金制度をはじめとする様々な施策に取り組んでいます。

離島・へき地の医療支援の事業目的、内容、現状等を教えてください。

離島地域で安心・安全な生活を営めるように、必要な医療提供体制の整備、離島医師の確保及び離島へき地の救急搬送体制の整備を目指しています。離島・へき地においては医師の偏在が課題ですが、本県では、昭和43年に県と関係市町で離島医療圏組合を設立し、昭和45年に医師養成のため医学修学資金貸与制度を全国に先駆けて創設、多くの養成医が離島医療の向上に努めてきました。平成24年には診療所や病院などを総合的に支援するため、ながさき地域医療人材支援センターを設立して、長崎大学、医師会、中核病院等が連携して、医師不足病院の支援や医師一人一人のキャリア形成支援等に取り組んでいます。まだまだ地域偏在を解消できていないのが現状です。関係者と連携しながら、医師の地域偏在解消に取り組んでいきます。

あじさいネットに対する感想を教えてください。

本県の地理的特長である離島やへき地は、起伏に富んだ美しい景色を生み出し魅力ある長崎県を象徴するものですが、医療の充実においては、海による隔絶やリアス式海岸による長距離の移動など厳しい環境にあり、医療提供体制に対する支援が必要です。物理的な距離をゼロにするあじさいネットのICTは、離島はもちろん県内全域の地域医療連携ネットワークを支える大変重要なツールであると

実感しています。

あじさいネットがなかったらできなかったことを教えてください。

離島の病院が遠隔診断により本土の病院の専門医から医療支援が受けられる遠隔画像診断システムは、あじさいネットがなければできなかったことです。専門医の診断や治療が必要な救急患者や病態のはっきりしない患者のCT画像等を離島から本土の支援病院に伝送し、遠隔診断により専門医の指示を仰いだり、ヘリコプターによる本土支援病院への搬送に活用されるなど、離島医療の支援に大きく役立っています。

あじさいネットに今後期待することを教えてください。

新型コロナウイルス感染症拡大を機に、様々な場面でITの活用が加速しています。あじさいネットにおいても9月から開始されているオンライン診療ソフトの利用など、人口減少や少子高齢化などの課題を解決するヒントが詰まっていると思います。これからも全国に先駆けて県内全域を結ぶ医療連携の効率的なツールとして発展されていくことが期待いたしておりますので、離島医療体制の確保のために、何卒ご協力を賜りますようお願いいたします。

お問合せ先

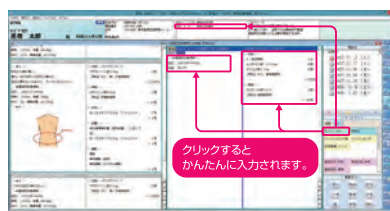
長崎県福祉保健部  
医療人材対策室  
電話 095-1895-2421

《賛助会員様広告欄》

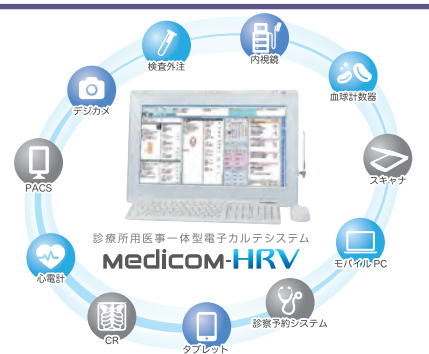


## 医院の情報集約の中心となる医事一体型電子カルテ

- メディコムはレセコンのバイオニア。そのノウハウを搭載した電子カルテ。カルテ入力から、会計、レセプト業務までOK。
- 紙カルテに近い視認性と、直感的に入力できる操作性を実現。主訴・所見・投薬・検査・病名までも一画面から簡単に入力可能。さらに最新のタッチ入力にも対応。
- カルテに記載した診療情報(記事、処方、注射など)をあじさいネットにアップロードが可能。



※本製品には、医療機器に該当する機能は含まれておりません。  
※接続可能な機器については、販売代理店までご連絡ください。



PHC株式会社 メディコム事業部 **Medicom**



# あじさいネットの機能一覧

あじさいネットは長崎県内の医療機関をつなぐネットワークシステムです。

あじさいネットは病診連携の機能だけでなく、様々な機能を加えながら、「進化」し続けています。



## 病診連携・病薬連携・病病連携 (カルテ共有)

情報提供病院のカルテ、画像、検査結果などの診療情報を共有することで、過去の病歴や併存症を正確に把握し、より質の高い医療提供に役立てられます。



## 多職種連携(在宅医療)

複数の医療機関の様々な職種の方々との間で患者さんの情報を共有できます。在宅医療や専門に特化した診療に役立てられます。



## セキュアメール(暗号化メール)

あじさいネット内でのみ送受信できるメールサービスです。高度に暗号化されているので安全に患者さんの診療情報を他院に送ることができます。



## 検査データ共有サービス

外注検査会社に依頼した検査結果をあじさいネット上で閲覧できます。さらにこの検査結果を他の診療所や病院と共有することが可能です。



## AMEC TV会議

あじさいネットに繋がる端末に、カメラや音声機器をセットし、あじさいネットにログインすれば、どこでも手軽にTV会議やカンファランスに参加できます。



## AMEC ビデオ配信

医療従事者の知識・技術取得向上の為に開催されている研修会や講演会を録画配信していますので、あじさいネット上でいつでも視聴できます。



## 糖尿病疾病管理

糖尿病を持つ患者さんの診療情報を複数の医療機関で共有し、糖尿病診療の質向上を目指しています。



## 周産期医療支援ネットワークシステム 「すくすく」

母子の記録・情報を管理し、安全な出産と健全な発育の支援をしています。また、救急搬送時、周産期センター側は、妊婦さんの到着前に詳細な妊婦さんと胎児の経過を把握することが可能です。



## 地域連携パス【テスト運用中】

診療所と情報提供病院の医師が、患者さんの治療を協力して行うために治療経過を共有する治療計画表・管理表の電子版です。専門外の分野でも安心して診療ができるようシステムサポートしています。

**あじさいネットには  
こんなサービスもあります！！**

## 時間外対応サービス

夜間休日でも新規患者の病診連携・病薬連携・病病連携(カルテ共有)が行えるサービスです。夜間休日は病院の登録窓口が閉まっているため患者登録ができませんでしたが、あじさいネットではそれが可能になりました。



より良い医療のために  
あなたも、あじさいネットに参加しませんか。

# あじさいネット 入会のご案内 【閲覧施設用】

情報提供病院の入会については手続き・費用とも本ページの記載と異なりますので、あじさいネット事務局にお問合せください。

## 入会申請から利用開始までの流れ

### 入会申請書を提出する

入会申請書に必要事項を記入し、あじさいネット事務局へ提出します。(申請書はホームページからダウンロードできます)

#### 施設が新規に入会する時に必要な書類

- 施設入会申請書【情報閲覧施設用】
- 機器設置ヒアリングシート
- 入会する人数分の 個人入会申請書

### 運用講習会を受講する

あじさいネットの概要や、利用に際し必要な事をご説明する「運用講習会」を受講していただきます。

(講習会の日時や場所は、入会申請受理後にご案内いたします)

受講が終わると、「あじさい会員ID」が発行されます。

### 機器を設置する

あじさいネットを利用するために必要なVPN機器の設置をするため、専門業者が施設にお伺いいたします。

(設置の日程については入会申請後、専門業者よりご案内いたします。)

### 初期費用・利用料のお支払い

入会金・初期設定費用・利用料をお支払いいただきます。

※「利用料」は会費およびシステム料・ウィルス対策費用で、毎年10月以降に1年分を請求します。入会時は機器設置の翌月から9月分までを一括でお支払い下さい。

### ご利用開始

これであじさいネットが利用可能です。患者さんから同意書を取り、情報提供病院にFAXすると約15分で(※)診療情報が閲覧できるようになります。皆様の日々の診療にぜひお役立て下さい。

(※ 多人数登録の同意書については設定に15分以上かかる場合があります。)

あじさいネットは、医療関係機関を強固なセキュリティネットワークでつなぎ、様々な情報をやりとりできる全国屈指の医療連携ネットワークシステムです。あじさいネット上では、情報提供病院の診療情報を閲覧するサービスを始めとして、その他にも様々なサービス・機能を提供しております。今後さらなる機能拡張・追加を予定しています。

入会申し込みからご利用開始までの手順は、左記の通りです。たくさんの医療関係機関の参加をお待ちしています。

**特別な機器は不要です**

通常のインターネットができるWindowsパソコン環境があればお申し込みできます(Mac OSでは動作保証なし)。

それ以外に事前に準備するものはありません。(※)

※ I V会議を利用するにはパソコンに接続できるマイク・スピーカー・WEBカメラが必要です。

**モバイルでも使えます**

あじさいネットはiPadでも利用でき、在宅診療等にとても有用なツールとなります。ただしご利用できるのはパソコンであじさいネットに接続できる(VPN機器が設置されている)会員施設限定で、iPadのみでの入会利用はできません。

また、通常の利用料と別にiPad1台につき月額700円(税抜)が必要です。(※)

※ 暗号化通信および本体紛失時対応のための証明書ライセンス料になります。

申請書類ダウンロード：あじさいネットホームページ

<http://www.ajisai-net.org/>

「医療関係の皆さま」→「入会・退会申請書」のページからダウンロードしてください。

閲覧施設の皆さまが入会する場合の

## 入会時の費用

所属団体が  
入会済なら  
**無料!**

入会金  
(1施設ごと)  
50,000円

初期設定費用  
(VPN機器1台)  
30,000円

※ 所属団体(医師会、薬剤師会等)が入会されている場合は、**入会金が無料**になります。

※ 施設の種別が「病院」の場合は病床数により金額が変わります。詳しくは事務局へお尋ねください。

入会についてのお問い合わせ先

あじさいネット事務局  
(長崎県医師会内)  
095-844-1111

## 閲覧施設の皆さまの 会員区分とご利用料金

	正会員	準会員*	ポータル会員*	システム料 (VPN機器1台)	ウィルス対策ソフト ライセンス料 (パソコン1台毎)
年会費 (1年分一括払い)	36,000円 (月額3,000円)	12,000円 (月額1,000円)	2,400円 (月額200円)	12,000円 (月額1,000円)	3,000円
利用できる機能	あじさいネット 基本機能全て	あじさいネット 基本機能全て	希望する 1機能のみ	(価格は全て税込です)	
総会議決権	○	×	×	※ 5人以上入会する施設は会費が割引になります。 詳しい金額は事務局へお問い合わせ下さい。 ※ 情報提供病院はこの表と金額が異なります。	

\* 1施設において、少なくとも1人は正会員となります。「準会員」または「ポータル会員」は、2人目以降の入会者について選択可能となります。

New normalの2021年にあじさいネットの真価を発揮しましょ。

あじさいネットOFFLINE通信 編集長 松本武浩

COVID-19はなおも猛威をふるい、長崎県においても医療機能の破綻の恐れが出てまいりました。対面や接触が感染要因とされる中、情報ネットワークは威力を発揮します。昨年12月22日には三回目となるあじさいネットTV会議を利用した感染症支援病院会議が緊急で開催されました。また、県全体でのコロナ対応に向け、病院の役割に応じ軽症・重症患者の転院・転入が必要となります。ここでは、県内ほとんどの拠点病院のカルテが共有できるあじさいネットは有効性を発揮するものと期待されます。一方、外来診療を制限せざるを得ない中、井上病院に引き続き、長崎大学病院でもYaDocを使ったオンライン

診療を開始しています。YaDocを提供するインテグリティヘルスケア社との提携による利用料の優遇措置を背景に、そのほかにもいくつかの拠点病院から利用申請が届いております。なお、西海市では有熟者の初診にYaDocを利用されることとです。本来、疾患制限の多いオンライン診療ですが、特措措置により電話等再診と併用することで、ほとんどの疾患が対応可能です。低い診療報酬が課題とされていますが、デジタル化とオンライン診療推進方針の菅政権の中で解決されるものと思います。少なくとも診療制限下でも、必要な診療や薬が必要な患者に届けられるよう手段として持つておくことは

有効なものではないかと思えます。またあじさいネットTV会議のカルテ共有機能を使えば2020年度診療報酬改定より算定可能となった専門医がTV会議を使って診療をサポートするD to D型オンライン診療も可能です。コロナが蔓延していない離島や地方での専門診療提供に有用でしょう。New normalと称されるPost coronaでは様々な変化が起っています。必然的に医療機関間の連携とコミュニケーションが活発化するのもそうでしょう。その結果、あじさいネットTV会議を使った専門カンファランスや多施設間会議が今まで以上に活発化することも期待したいと思えます。

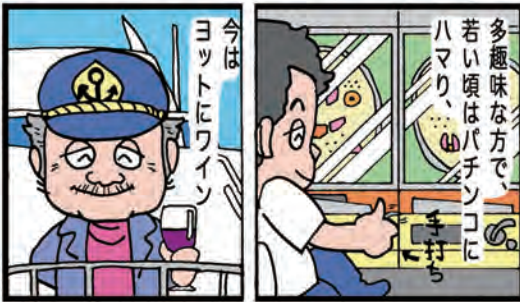
この広報誌のご感想をぜひ、あじさいネット拡充プロジェクトまでお寄せ下さい。  
ajisai.project@nagasaki.med.or.jp



あじさいな人々  
たくま かずひこ



専門は産婦人科。お産が大好きで深夜でも先生自身が対応されているとのこと。



多趣味な方で、若い頃はパチンコにハマり、ヨットも今はいきんで



そんな多忙な先生が今年から「あじさいネット」の会長にも就任されます。

漫画制作： たくま医院 院長 詫摩和彦先生 (長崎市医師会所属/長崎在宅Dr.ネット副理事長)

あじさいネットからのお知らせ

第9回あじさいネット研究会開催決定!!

昨年、延期になりました第9回あじさいネット研究会を2021年6月19日に開催します。今回の研究会は、オンラインでの開催になりますので、インターネットが繋がる端末をお持ちの方でしたら、どこからでも研究会をご視聴いただけます。沢山のご参加をお待ちしています。詳細は、あじさいネットホームページに随時掲載予定です。

オンライン講演会や研究会を あじさいネットで配信しよう!

昨年から多くの講演や研究会が、オンラインで開催されるようになりました。医療関係者向けのオンライン講演会や研修会について、演者または講師の許可を得られた録画動画であれば、あじさいネット「医療関連ビデオ配信」にて配信が可能です。配信をご希望の方は、あじさいネット拡充プロジェクト室までご連絡ください。

退職、転勤をされる方は退会申請書の提出をお願いします!

退職される方、または転勤をされる方はあじさいネットの退会申請書のご提出をお願いいたします。転勤の場合は、新しい施設での入会申請書のご提出もよろしくお願いたします。なお、各病院のあじさいネットご担当者様が代理で退会申請書をご提出いただくことも可能です。

お問い合わせ・入会お申込み  
あじさいネット事務局 (長崎県医師会内)  
TEL.095-844-1111 FAX.095-844-1110  
aj-na@nagasaki.med.or.jp

